平成23年度当初予算　予算要求シート

整理番号　11 － 035　　局･課名／　健康福祉局　高齢福祉課　　（単位　千円）

事　業　名	緊急通報システム
関連事業	

	平成21年度決算額	平成22年度予算額	平成23年度要求額
事　業　費	49,757	57,700	57,736
事業期間	H9～	全体事業費	

事業目的

ひとり暮らし高齢者等に緊急事態が発生した場合に迅速かつ適切な対応を行うことを目的に、高齢者宅に緊急通報装置を設置して消防との連携を図り、安心して暮らせる生活環境の確保を行う。

今年度要求のポイント

高齢者の増加に伴い、緊急通報装置の設置件数が年々増加しているため、委託料を増額して要求する。

事業内容

高齢者宅に緊急通報装置を設置し、緊急ボタン（消防が通報先）や相談ボタン（委託業者が通報先）を押した際に、迅速かつ適切な対応を行う。
（対象者）
① おおむね６５歳以上の病弱等の一人暮らし高齢者、又は高齢者のみの世帯の方。
② 昼間または夜間に独居（同居家族が就労・就学等のために日中または夜間の大半において不在）となるおおむね６５歳以上の病弱等高齢者。
（委託内容）
装置の保守（取り付け、メンテナンス、取り外し）、２４時間３６５日の健康相談、緊急時の警備員の出動等。

主な要求内容

（単位：千円）

項目	22年度予算	23年度要求額	内容・積算等
保守管理業務委託	31,625	34,873	保守管理業務委託料
備品購入費	25,799	22,552	緊急通報装置購入費
その他	276	311	
合計	57,700	57,736	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～22年度】
緊急通報システムの利用には、近隣協力者が2名必要だったが、近年それが難しくなってきたため、委託業者が協力者の役割を担う制度を開始した（平成22年度～）。

【23年度】
事業の継続実施

【今後（～24年度】
事業の継続実施

その他　特記事項